

令和7年度 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進事業
おおすみくん家 登山キャンプ
(公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ活動等普及奨励助成事業)

- 1 趣 旨 登山を通して、豊かな情操や自ら考える力を培い、青少年の自立を支援する。
2 主 催 国立大隅青少年自然の家
3 企画運営 鹿児島県「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会
4 後 援 国立大学法人 鹿屋体育大学
5 期 日 令和7年11月22日（土）～24日（月） 2泊3日
6 参加対象 小学5年生～中学生
7 募集定員 20人
8 参 加 者 19人（応募31人、当日キャンセル1名）
9 指 導 者 霧島山岳会2人、自然の家職員4人、法人ボランティア6人



10 日 程

| 11月22日（土） | 11月23日（日） | 11月24日（月） |
|-------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 10:00 受付 | 5:30 起床、朝食、テント撤収 | 5:30 起床、朝食、テント撤収 |
| 10:15 開講式 | 7:00 登山：御岳登山口（山頂で昼食）～妻岳分岐～大笠柄岳～妻岳分岐 | 7:00 登山：妻岳分岐～御岳登山口（山頂で記念撮影） |
| 10:30 チームビルディング | 16:00 テント泊準備、夕食 | 11:00 昼食 |
| 11:30 昼食 | 19:40 振り返り、就寝 | 12:30 シャワー、片付け |
| 12:15 荷物パッキング | | 14:00 振り返り |
| 13:00 ハイキング：鳴之尾牧場～御岳登山口 | | 14:40 閉講式 |
| 16:00 テント泊準備、夕食 | | 15:00 解散 |
| 19:40 振り返り、就寝 | | |

11 事業運営上の配慮

- 事前踏査によりルート確認を行った。山中泊の際に必要な水を事前に運び込むなど、行程中のリスクマネジメントに努めた。
- 热中症に注意し、水分、塩分の適切な補給に努めた。
- 各班にボランティアを配置し、班員の安全管理のほか、毎日振り返りをさせて学びの要素を深めた。

12 参加者の感想

- 山頂に着いた時の達成感がすごかった。
- 山でしか経験できないことと、普段は当たり前だけど山ではそうではないこと、両方あるということを学べた。
- 鹿児島はこんなに自然がたくさんで、人も優しくて、鹿児島がもっと好きになりました。

13 成果と課題（●は課題）

- 参加者全員が登山を完遂でき、達成感を感じられていた。
- 各グループの上級生が荷物運搬やテント設営などの際に率先して声掛けを行っており、また、遅れた班員を気遣って励まし合うなど、リーダーシップやチームワークについて学ぶ機会にできた。
- 登山の基本的なマナーやテントの扱い方について出発前に学ぶ時間があったほうが良い。
- 参加者によって歩くスピードに差があったり、食事準備に時間がかかったりしたため、柔軟性を持ったスケジュール管理をしたほうが良い。

